

千葉大学大学院工学研究院教員公募

公募内容	募集職名	助教（テニュアトラック制を適用。任期5年）
	募集人員	1名
	所属	大学院工学研究院総合工学講座
	専門分野	超分子化学分野、高分子化学分野、有機機能材料化学分野
	求める人材	<p>① 超分子、機能性有機材料、分子集合体、自己組織化、高分子材料、等をキーワードとして、有機化学、高分子化学、物理化学、生体機能関連化学等を基盤とする研究を行っている者。</p> <p>② 上記の研究分野において矢貝史樹教授と共同で研究業務を行え、将来グローバルに活躍し、日本を代表するような研究者になる意欲がある者。</p> <p>③ 分子集合体化学分野における教育において、学部、修士、博士などに対する十分な教育を行う意欲がある者。</p> <p>④ 海外の研究機関との共同研究を意欲的に行える者。</p> <p>⑤ 科学研究費等の競争的資金を積極的に獲得する意識が高く、企業との共同研究も積極的に推進できる者。</p>
	担当業務	上記専門分野に関する研究業務及び工学部総合工学科共生応用化学コース、大学院融合理工学府共生応用化学コースにおける教育業務。 その他、工学研究院及び本学における管理運営業務
	担当授業	学部：共生応用化学実験、セミナーⅠ、セミナーⅡ、卒業研究等 大学院：特別研究Ⅰ、特別演習Ⅰ、先進理化学専攻特別講義等
	着任時期	令和5年4月1日
	応募資格	<p>① 博士（Ph.Dを含む）の学位を有すること。または、博士（Ph.Dを含む）の学位を2023年3月末までに取得見込みであること。</p> <p>② 有機化学、高分子化学、物理化学、生体機能関連化学等の専門分野において、査読付き国際科学雑誌への論文掲載を含む優れた研究実績があること。</p> <p>③ 上記専門分野を先導して将来国内外においてリーダーシップを取り、産学連携や学際的共同研究を積極的に推進する意欲があること。</p> <p>④ 上記専門分野に関して教育または指導に意欲があり、学部・大学院における教育を意欲的に推進できること。</p> <p>⑤ 工学研究院の組織運営にも積極的に参画できること。</p>

待遇	給与	本学の年俸制給与規程に基づき支給します。
	勤務時間	原則、8時30分～17時15分。裁量労働制適用となります。
	休日	週休日（土曜、日曜）、祝日及び12月29日から翌年1月3日。（ただし、週休日及び祝日等に勤務を命じる場合がある）
	休暇等	年次有給休暇、特別休暇（産前産後休暇、忌引休暇等）、病気休暇、育児休業等
	任期	採用日から5年間。 ・採用から3年目に中間評価を実施、5年目にテニュア審査を行い、テニュア職の採用可否を決定します。業績が優れている場合は、テニュア審査を早期に行う場合があります。
	福利厚生	労災保険、雇用保険、厚生年金、文部科学省共済組合に加入します。

提出書類

①個人調書（本学所定様式。以下よりダウンロードしてください。）

<https://www.f-eng.chiba-u.jp/company/advertise.html>

②主要論文別刷（5報まで、各1部）

③教育及び研究に関する抱負（各1,000字程度）

④応募者について意見を求めることができる方の氏名及び連絡先（2名）

⑤①～④の全てを、紙媒体に加え電子媒体（MS WordファイルまたはPDFファイルをCD-ROM、USBメモリ等に保存）として提出すること。また、送付状（様式任意）を同封し、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）を明記すること。

提出締切日

令和 4年 6月 20日（月） 17時必着

書類送付先

〒263-8522
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学大学院融合理工学府共生応用化学コース長 上川 直文 宛
※「共生応用化学コース担当教員応募書類在中」と朱書きしてください。
※簡易書留等追跡が可能な手段で送付願います。

留意事項

- ① 応募書類は、本選考意外には使用はせず、原則として返却しません。選考後は責任をもって破棄します。
- ② 選考過程で面接を実施する場合があります（旅費は自己負担）。
※海外在住の場合にはインターネットを利用した面接を実施します。
- ③ 教育研究業績が同等であれば、女性、外国人を積極的に採用します。

問合せ先

千葉大学大学院工学研究院（大学院融合理工学府共生応用化学コース）
コース長 上川 直文
E-mail : uekawa@faculty.chiba-u.jp